

実践活動Ⅴ

発表（活動成果（結果））

活動実践に向けて

日時：平成24年11月17日（土） 10:00～15:00

講師：高野 雅夫（名古屋大学大学院環境学研究科准教授）

概況



前回の講義では、市民活動コースの受講生は実際に森林でどんな活動ができるか意見交換をしました。「木を使う・親しむこと」と「村を元気にする・森をつくる」2つのテーマに絞りましたが、具体的にどんな活動ができるか決めることができずに講義を終えました。

本講義では、「木を使う・親しむこと」班と「村を元気にする・森をつくる」班に分かれて実現可能な活動はどのようなことができるか意見交換をしました。概要について以下の通りになりました。

「木を使う・親しむこと」班

1. 目指す森林

- ・生物多様性の森林
- ・人工林と広葉林が入り混じった自然豊かな心地良い森。

2. 具体的な活動

- ・チラシ作り
- ・仲間作り
- ・森林組合に相談しつつ山主を探す
- ・間伐
- ・キノコ作り
- ・間伐材を使った物作り

- ・薪割り
- ・自然観察等の観察
- ・遊び場作り
- ・トイレと製材所作り

3.活動の特徴

- ・間伐材を活用した木工品やキノコや薪等の販売ができる。
- ・製材所があることで木材の搬出場所の確保と製材することができる。
- ・遊び場を提供することで森のようちえん等のプログラムを実施できる
- ・トイレ等の施設を作ることで利便性の強化。
- ・誰もが自由に立ち入ることができて仲間が参加しやすい環境である。

「村を元気にする・森をつくる」班

1.目指す森林

- ・瀬戸市の放置されている高齢者が所有する屋敷林

2.具体的な活動

- ・チラシ作り
- ・仲間作り
- ・屋敷林の手入れ
- ・屋敷林から薪を調達して焼き物作り。
- ・屋敷林の所有者調査(助成金の活用)
- ・安全な伐採方法の講習

3.活動の特徴

- ・屋敷林の手入れをすることで日々の暮らしの中に自然との繋がりを持つことができ、新しい生き方をすることができる。
- ・所有者の交流を深めることを通じて地域の関係を深めて町を明るくできる。
- ・間伐をすることで森を再生することができる。
- ・焼き物作りのイベントをすることで地域の特性を伝えることができる。
- ・薪の自然再生エネルギーの活用によつての持続可能な社会づくりができる。
- ・安全な伐採方法の講習をすることで屋敷を壊すなど事故リスクが抑えることができる。